

令和2年度第3回 鹿児島市清掃事業審議会(R3.2.2)における主な意見及び対応

【第四次一般廃棄物処理基本計画】

No.	意見等	対応
1	<p>3 Rを全く知らないとか、資源物を分別して出していない年代の割合を年代別で教えてほしい。</p> <p>そのことで、ターゲットをどこに向けるのかということにつながってくる。</p>	<p>市民意識アンケート調査の調査項目「あなたは3 Rについて知っていますか」や「あなたはごみの分別方法やルールについて知っていますか」の調査結果を基に、ご意見の年代別の割合については、別表を今後追記します。</p> <p>なお、年代別の割合では10～40歳代の認知度が低いことから、＜基本方針1：3 Rの推進＞の具体的取組に「ごみの分別マナーの向上に向けては、10～40歳代の認知度が低いという市民意識調査アンケートの結果を踏まえた広報啓発を行います」を追記する。</p> <p>(素案 P59)</p>
2	<p>総合計画等での分析データから、清掃事業に関係するものを活用できないか。</p>	<p>第六次総合計画と同様に、人口ビジョン・総合戦略(R3.3改訂)の人口推計値を採用しており、そのデータを参考に今後のごみ・資源物や生活排水の排出量を推計しています。</p>
3	<p>計画の中に「3010運動」の説明を入れることはできないか。</p>	<p>ご意見のとおり記載する。</p> <p>(素案 P46)</p>
4	<p>現計画の令和3年度目標にしたもので到達していないものもあるため、前期の振り返りをした方がよいのでは。</p>	<p>総括については、第2章第2節「前計画の総括」で、取組の概要や目標の達成状況を記載する。</p> <p>(素案 P10)</p>
5	<p>資源化率に加え、参考として、他都市との比較の点でもリサイクル率を記載できないか。</p>	<p>リサイクル率の定義や他都市との比較を今後記載する。</p>
6	<p>啓発という言葉が多用されているが、市民一人一人の気持ちを行動に持っていけるような表現を入れてほしい。(「市民等と一緒に協働して」という視点で記載してほしい)</p>	<p>第3章第4節の「3目標達成に向けた施策」で、具体的取組の表記については、市民(市民活動団体)・事業者・行政の主体ごとに整理し、協働連携による取組を進めていく内容に修正する。</p>

No.	意見等	対応
7	<p>高齢社会への配慮を地域の中でどう取り組んでいくか。この計画の中でその視点からの具体的な政策を記載できないか。</p>	<p>本市では、高齢者を地域全体で支える体制づくりを進めることを目的に、ごみ出し等の生活援助活動を行う団体に対して「支えあい活動補助金」の制度を設けており、＜基本方針 2：廃棄物の適正処理の推進＞の具体的取組に「ごみ出しなど生活援助活動を行う団体に対する助成制度（支えあい活動補助金）等の広報啓発を関係部局と連携して行い、地域における高齢者等への支援体制の充実に努めます。」と記載する。</p> <p>(素案 P63)</p>
8	<p>事業者のごみ処理に対する取組があまり記載されていない。</p>	<p>数値目標の達成に向けては、事業者の取組も重要であることから、事業者の具体的取組を追記する。</p>
9	<p>基本理念を具体化するのであれば、ごみ収集車のゼロカーボンに向けた取組のことも盛り込むべきである。</p>	<p>ゼロカーボンシティかごしまの実現に向けては、運輸部門のCO2 排出量が最も多いことから、その削減が重要であり、ごみ・資源物処理の課題の「3 効率的で超高齢社会等に対応した収集・運搬」で、環境保全に対応した収集車の導入の必要性を記載し、＜基本方針 2：廃棄物の適正処理の推進＞の具体的取組に「ごみ収集車両については、環境に配慮したEVパッカー車などの導入に向けて研究します」を記載する。</p> <p>(素案 P40,62)</p>
10	<p>基本理念の実現に向けては「協働」と「参加」について具体的に盛り込んでほしい。</p>	<p>第3章第1節の基本理念の考え方に「多様な関係性で結ばれるすべての人が参加するSDGs の考え方を踏まえ、市民・事業者・市民活動団体・行政がそれぞれの役割を担いつつ、協働・連携し、長期的な視点で未来を考え、持続可能なまちを目指して積極的に取り組んでいく必要がある」を記載する。</p> <p>(素案 P14)</p>